

| | | | | | | | | | | |
|-----------|-------------|--|------------------|---------|-----------------|-----|--|---------|-------|----|
| 事業所名 | | 放課後等デイサービスコンパス金沢文庫教室 | | 支援プログラム | | 作成日 | | 2024年 | 12月 | 1日 |
| 法人（事業所）理念 | | 法人理念は、「私たちは、お客さまに思いやりの心で接する福祉サービスのプロ集団です」。放課後等デイサービスコンパス金沢文庫教室は、子どもたちの十人十色の個性を尊重し、感情や情緒、創造的な心を育み、子どもたちの「自分は自分である」という自己肯定感を高めていくことを目的としています。そして、それぞれの個性を伸ばし、「自分の意思で未来の一步を創造する力」を育みます。 | | | | | | | | |
| 支援方針 | | 個別療育・運動療育・集団療育をバランスよく取り入れ、生活能力向上を目指し社会性を身に付けることを目的とします。そして、画一的な療育ではなく、一人ひとりの個性に合わせた個別指導計画を作成し、それぞれの「個」の力を伸ばします。 | | | | | | | | |
| 営業時間 | | 平日 | 10時00分から19時00分まで | 学校休校日 | 9時00分から18時00分まで | | | 送迎実施の有無 | あり なし | |
| | | 支 援 内 容 | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> ●ライフスキルトレーニング：身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援します。他にも清掃活動、買い物、外出行事等を通してライフスキルの定着を図ります。施設内通貨を使った活動では、金銭感覚の定着を目指しています。 ●健康管理：手洗いうがい、検温等により病気の予防をすることも、健康な体づくりの基礎を学びます。 ●安全教育：外出行事や送迎時の交通安全や避難訓練などのロールプレイと実践を通じて、日常の安全意識を高める支援をします。 | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> ●身体機能向上：粗大運動や筋力トレーニング、ライフキネティック等を通して、健康的な体づくりを支援します。ライフキネティックでは、体を動かしながら脳の活性化を図ります。 ●リズム遊び：音楽に合わせたダンスやリズム遊びの中で、リズム感と協調性を育み、楽しく体を動かす機会を設けます。 ●屋外活動：公園遊びなどを通して、自然とのふれあいを楽しみながら体力と自立心を養います。 | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> ●認知機能向上：ボードゲームなどを通して、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用し、必要な情報を収集し、認知機能の発達を促す支援を行います。 ●社会的スキルの育成：SSTや集団活動を通して、お友達とのコミュニケーションや協力の仕方などを学びます。 ●自己調整スキルと自己肯定感：感情の認識とコントロール、成功体験などの積み重ねを通して、自己調整能力や自己肯定感の育成を支援します。 ●行動障害への予防及び対応：スモールステップで小さな目標を設定し、達成感を味わうことで、自己肯定感ができるよう支援します。その中で、問題解決のステップを伝え、自己解決能力の定着も目指します。 ●行動療法：ポジティブな行動支援や構造化された環境下で、望ましい行動を促し、定着を支援します。 ●学習支援：宿題のサポートやプリント学習を通して、基礎的な学習スキルの強化を支援します。 | | | | | | | | |
| | 言語コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> ●言語発達支援：体系的な言語の習得、自発的な発語を促す支援を行います。また、活動の中で、正しい言葉の使い方を学習します。 ●コミュニケーションスキルの向上：お友達との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行います。対指導員では、インリアルアプローチを基本とし、コミュニケーションの経験を積むことができるように支援します。 ●非言語的コミュニケーション：ジェスチャーや表情、アイコンタクトなどを用いて、言葉以外でのコミュニケーション方法を学びます。 ●グループ活動：集団活動を通して、他者とのやり取りの場を提供し、指導員が間に入り援助、支援します。他者とのやり取りを通して、協力の方法や自分の役割を見つける体験をします。 | | | | | | | | |
| | 人間関係社会性 | <ul style="list-style-type: none"> ●ソーシャルスキルトレーニング：挨拶や自己紹介、ロールプレイなどを通して、指導員やお友達の関わり方を体験します。 ●愛着行動の形成：人との関係を意識し、身近な人との親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人との安定した関係を形成するための支援を行います。また、思いに寄り添った言葉かけに努め、指導員とご利用者様の良好な関係形成を図ります。 ●集団参加：手順やルールを理解して、協調した遊びや活動に参加できるよう支援します。社会参加活動では、社会とのつながりと社会貢献の機会を育みます。 ●自己理解とコントロールのための支援：自分の強みや希望を理解し、自分で決める力を育てる支援をします。 | | | | | | | | |
| 家族支援 | | <ul style="list-style-type: none"> ●フィードバック：送迎時や玄関対応の際に、事業所や学校、家庭での様子を共有する時間を設け、事後の療育活動での関わりに活用します。 ●モニタリング：定期的（半年に1回以上）に実施し、ご利用者様の成長や課題について保護者様と話し合い、心のケアをサポートします。 ●家庭での支援方法の提案：自宅での過ごし方や生活スキル向上のための方法を提案し、家庭でも継続的に子どもを支援します。 ●保護者参観：支援の方法や家庭での過ごし方のヒントとなるよう、実際の支援をご覧いただき、ご参加いただく機会を設けます。 | | | | | | | | |
| 地域支援・地域連携 | | <ul style="list-style-type: none"> ●地域の施設の利用：図書館や公園、ログハウスなど、地域の公共施設を利用し、地域資源を活用します。 ●地域連携の強化：地域の学校や福祉サービスと連携し、包括的な支援体制を整えます。 ●情報提供と啓発活動：SNSの積極的な活用により、地域へ活動内容や障がいの理解を広めます。 | | | | | | | | |
| 職員の質の向上 | | <ul style="list-style-type: none"> ●定期的な研修と教育：専門的な研修（月に1回以上を基準）やケースカンファレンスなどを通じて、最新の知識と実践的なスキルを学んでいます。 ●資格取得支援制度：資格取得のための費用補助や学習支援などを提供し、職員の専門性を高めます。 ●メンタリング：新任の指導員へのメンタープログラムを導入しています。 ●オフサイトミーティング：レクリエーション活動を通じて、職員間の協力体制と絆を深めています。 ●職場環境の改善：働きやすい環境の整備やワークライフバランスの推進に努め、職員のストレス軽減を図っています。 | | | | | | | | |
| 移行支援 | | <ul style="list-style-type: none"> ●進学・就学のサポート：e-ラーニングの一環として科学的根拠に基づいた脳バランスキッズを活用します。 ●社会体験活動：ボランティアやお仕事体験などを通して、必要なスキルを学ぶとともに社会の仕組みなどを知る機会を提供します。 | | | 主な行事等 | | <ul style="list-style-type: none"> ●社会体験活動：同法人の高齢者施設訪問やレクリエーション ●季節行事：夏祭り、冬祭り、お誕生日会などの実施 ●保護者参観 | | | |